

福井県の低地ブナ林3 福井市上一光町に残るブナー標高 320 mー 発見の経緯

*大久保 嘉雄

福井県の低地ブナ林は標高 200 m～400 mに存在し、現在 4ヶ所が記録されている。南越前町今庄の新羅神社（標高 200 m）、勝山市平泉寺町の白山神社参道（標高 250 m）、越前市大滝の大滝神社奥ノ院（標高 280 m）、永平寺町永平寺の永平寺裏山（標高 300 m）である。5ヶ所目として、2019年 5月 5日、福井市上一光町白山神社の横で 2本のブナを確認した（図 1）。標高 320 mの低地ブナ林の名残である。暖かさの指数からみたブナ林としての位置づけはこの雑誌の前半の論文で述べているので、ここでは聞き取りと観察したことを記載する。

発見前は、福井大学の香室昭円先生に随行した植生調査の帰りに立ち寄ったという曖昧な記憶がある程度だった。大学を卒業して福井県にもどった 1978 年頃だったと思う。当時は低地ブナ林に関心がなかったが、その後、そこにブナ林があったのか、長い間気になっていた。何度か訪れたり、下手の下一光町の白山神社にも行った。当日は好天に誘われて自転車のトレーニングで訪れた。たまたま白山神社から西へ 2軒目の民家前にいた 70 歳くらいの女性に話しかけたら、家の奥の夫を呼んできてくださり、その方から思いもかけない情報を得た。齋藤和治さんである。

1 聞き取りによる調査

2019年 5月 5日、齋藤さんからの聞き取りがブナの発見につながった。その後はコロナ禍のために中断していたが、2020年 12月 21日、2021年 6月 18日に齋藤さんと年配の村人 2人の聞き取りを行った。まとめると、福井市上一光町白山神社のブナ林の概要は次のようである。

「約 40 年前、白山神社にブナの木があったが、神社を建てるために業者に売った。5本から 10本程度である。この付近は雪が多く、建物が傷む。屋根に落ちてきた枝が瓦を傷めるので、銅板で葺く



図 1 福井市上一光町の白山神社の横のブナ
国土地理院 2.5 万分の 1 の地形図を利用した

図 2 民家裏の斜面の上部で発見 2019. 5. 5
中央にブナが 2 本ある。標高 320 m

代金の足しに使った。2つ下の村の前田材木店に切ってもらった。切ったブナは、お椀や蕎麦のこね鉢に使ったのではないだろうか。神社のブナを売った後、市役所の人に叱られた。貴重なものなので市の指定しようとした矢先だったのに、ということだった。境内にはケヤキ、ホオノキ、ブナが混在し、スギは後から植えた。神社の西にある斎藤さんの裏山のブナが家にかかっていたので切ってもらったが、2本だけ残した。横の竹林を通っていけばブナが何本かある。」斎藤さんの裏山の2本が図2のブナである。

その後、福井県植物誌の著者である渡辺定路先生にブナ林の存在を聞いた。「昭和35、36年に植物採集に入ったがブナ林の記録はとらなかった。ミズバショウがあったので小学校の児童が世話していたが、その後に世話をしなくなったら無くなった。その頃は移植という考えはなかったので自生ではないだろうか。」とのことだった。

2 ブナの本数

斎藤さんの裏山の横にもブナがあると聞いたので、2021年11月17日と12月2日に調査した。白山神社の裏から西にかけての斜面はコナラ二次林にスギの植林やモウソウチクが混じり、雑然とした林である。その林の約50 m×50 mの範囲において、高木や亜高木、低木のブナは合計17本だった。

高木5本（樹高約20 m）；DBH（胸高直径）= 30.3 cm、22.3 cm、20.2 cm、19.0 cm、18.2 cm

亜高木3本（樹高約10 m）；DBH= 11.1 cm、10.2 cm、8.0 cm

低木9本（樹高約2 m以下）

実生や幼木は未調査

高木から低木17本のブナを確認できたということは、ブナ林が存在した証拠だろう。伐採があと数年遅れていたら福井市の指定にもなり、貴重な低地ブナ林を後世に残すことができた。この地域は丹生山地の北に位置する。福井県道路保全課の「みち情報ネットふくい」の積雪情報では、積雪深は今庄（最深積雪平年値88 cm）よりもいつも大きく、ブナ林が生育するには好条件である。丹生山地の南から北へ、鉢伏山（標高762 m）やホノケ山（737 m）、城山（542 m）、越知山（613 m）にはブナ林がある。上一光町は丹生山地の北に位置する国見岳（標高656 m）の近くの村である。国見岳ではブナ林の記録はないが、上一光町の白山神社にブナ林が残っていたなら、国見岳周辺にもブナ林が広がる風景も想像しやすかっただろう。

2021年には高木の枝に結実が観られた（図3）。高木と亜高木で8本しかないので、健全堅果の割合はどれだけだろう。また、林床に実生や幼木はあるだろうか。調査を行い、伐採がなかったらブナ林が生き残っていたかを検証したい。



図3 結実のようす

2021. 11. 17